

低馬力・低燃費・高速作業＝低コスト農業
高速作業で作業能率が従来耕の約3倍に!!
作業時間・燃料費も約1/3になって極めて『エコ』!!



エコプラ

作業の効果

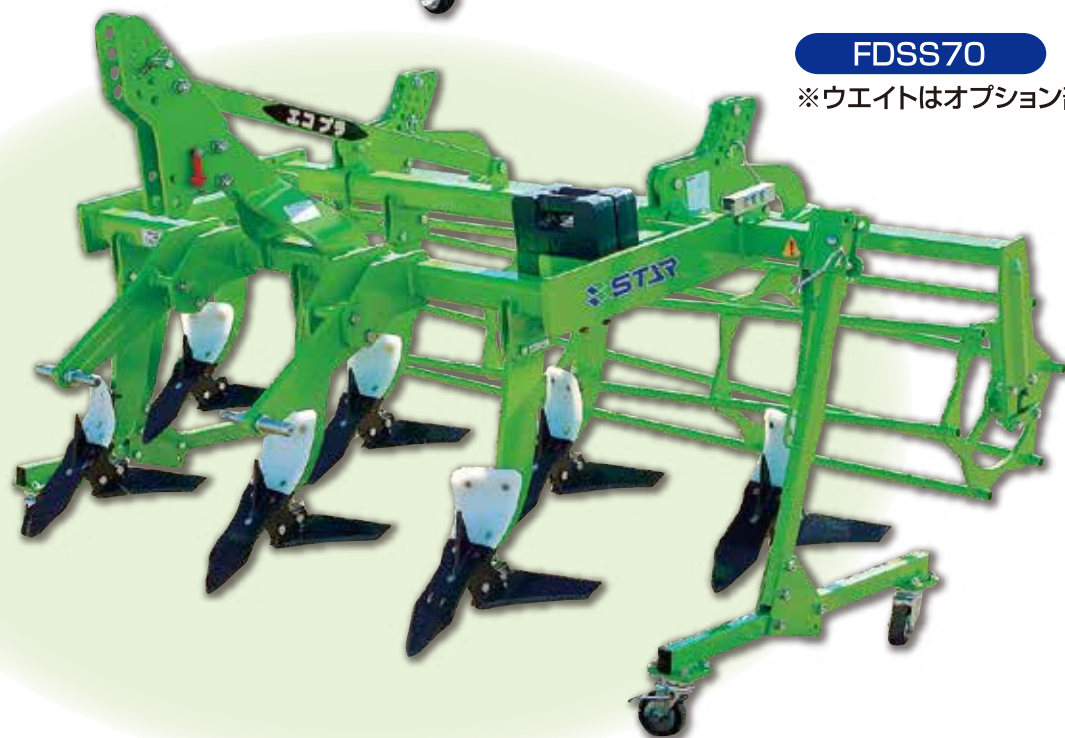
- 有機物を混和することにより、植物の生育に最適な団粒構造の形成や肥料保持に必要な、腐植質を補充する事が出来ます。
- 適度な大きさの土塊となるため、土壌が早く乾きます。
- 転作・裏作の麦・大豆などにも、一度ソイル作業する事で、後作業の能率が上がります。

FDSS50



FDSS70

※ウエイトはオプション部品



■スーパーソイル“エコプラ”仕様

型 式	ナイフ 本数	機体寸法 mm			重量 kg	性 能				爪形状	ローラ 形状	装着 方法	適応 トラクター kW(PS)
		全長	全幅 (折りたたみ時)	全高 (折りたたみ時)		作業幅 mm	作業深さ mm	作業速度 km/時	作業能率 分/10a				
FDSS50	5	1900	1700	1100	340	1600	100～250	4～8	6～13	樹脂製 Gボード ジェット ウイング 型式末尾 なしは カットナイフ付	6本 バー カゴ ローラ	3P直装 I型	20～37 (27～50)
FDSS50F					日農工 OS								
FDSS50-OS					3P直装 I・II型							29～51.5 (40～70)	
FDSS50F-OS													日農工 OL
FDSS70	7	1900	2280	1260	430	2200	100～250	4～8	4～10	型式末尾 Fは カットナイフ無	6本 バー カゴ ローラ	3P直装 I・II型	29～51.5 (40～70)
FDSS70F					日農工 OL								
FDSS70-OL					3P直装 I・II型							29～51.5 (40～70)	
FDSS70F-OL													日農工 OL

※仕様・写真等、予定なく変更する場合があります。
※注意:オートヒッチは破損等の保証は致しません。安定した作業ができて圃場条件を選ばない3点直装を推奨します
(旧型のオートヒッチは適応しない場合があります)。なお、別売のオートヒッチユニット取り付けによって日農工タイプとなります。
※重量にはキャスタースタンドが含まれていますが、機体寸法には含まれていません。

※土壌条件により適応トラクターは変わります。

■オプション品

名 称	型 式	規 格	対応エコプラ
カバーディスク	ACD-SS7	左右1組	全タイプ適応
コールドアタッチ	ADCA-5R	2連	5本爪タイプ
オートヒッチユニット	APA1020-S	日農工OS	5本爪タイプ
	APA1020-L	日農工OL	7本爪タイプ
ウエイト	部品0728580004	20kg/1個	全タイプ適応



安全についてのご注意

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前後には、十分に点検・整備をおこなってください。

商品についてのご相談・ご意見は下記へご連絡ください。



ホームページは
こちらから



安全はIHIアグリテックの願いです。

株式会社IHIアグリテック

千歳本社
〒066-8555 北海道千歳市上長都1061番地2
TEL 0123(26)1123 FAX 0123(26)2412

ホームページアドレス <https://www.ihl.co.jp/iat/>

※このカタログの写真・仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
2023.8作成 SU3A023A019

簡易耕起で低コスト農業!元気な大地で豊かな稔りを!!



ポイント 1

土質に合わせて可動式ジェットウイング

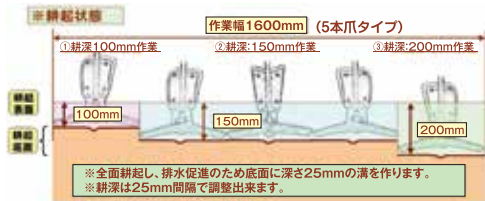
Gボードチゼルとジェットウイングの組合せは、耕深の安定と高速作業を可能にします。ジェットウイングの進入角は2段階に調整できます。



ポイント 2

全面耕起で残耕なし

全面耕起で残耕が無く、排水促進のため底面に深さ25mmの溝を作ります。奇数ナイフの配列は直進性に優れています。



ポイント 3

簡単に11段階微調整可能

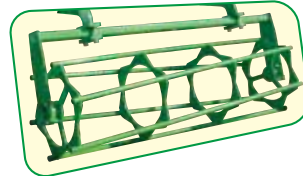
耕深はピン差し替えにより、約25mm間隔で11段階の設定が出来ます。土質の違いにも対応します。



ポイント 4

大径ローラ採用

φ500mmの大径カゴローラを6本バーとして、土揚げ性が更にアップ! 粗砕土・鎮圧効果を上げて、けん引抵抗も低減します。



ポイント 5

- 水平マーカ
- キャスタースタンド装備
- ウェイト台
50シリーズは20kgウェイト×4コ、70シリーズは左右に各4コ装着可(※ウェイトは付属していません)

エコプラ Q&A

① スーパーソイル(エコプラ)は何をするの?

- 1) Gボードと一体化したチゼルは土の移動を最小限に抑え、有機物を混和します。⇒土は透水性・通気性・保水力・保肥力のある団粒構造を形成します。
- 2) 適度な大きさ(こぶし大)の土塊は乾燥が促進しやすく、「乾土効果」が生まれます。
- 3) 不透水層(硬盤)をチゼルとジェットウイングで今までより深く削り取り、チゼル先端は、排水溝(深さ約25mm)を形成します。⇒排水・通気性の改善効果。



② ロータリで耕した場合との違いは?

- 1) ロータリ耕に比べ約3倍のスピードがあり、高能率です。
- 2) チゼルにより、土をすくい上げる様に持ち上げて反転するので、多少湿った状態でも土を練り込む事が少ないので、作業可能です。



③ なぜ、全面耕起が必要なの?

・もし耕起底面が凸凹ならば、代掻き後の田植え作業時に、田植機の直進性が悪くなり、稲刈作業に影響します。また、作土深さの不揃いも、浮き苗や欠株の原因となり、収量減へ直結します。



④ 荒おこしのメリットは?

- 1) 土を乾かした後に加水することで、予め乾燥させなかった場合に比べて、微生物の働きが活性化し、アンモニア態窒素(NH₄⁺、NH₃)や硝酸態窒素(NO₃⁻)が増加する、いわゆる『地力窒素の増加』すなわち『地力アップ』となり、減肥が可能となります。これが『乾土効果』です。
- 2) 土中の好気性微生物が活発に働き、有機物の腐植が促進されます。
- 3) また、寒風により、土中の害虫を死滅させることが可能です。

⑤ 耕起深さの目安は?

- 1) 一度に深く耕すと、有機物・微生物と養分の少ない下層(硬盤以下)の土(心土)と通常起耕している土(作土)が一度に混ざると、地力が低下し初期生育に影響します。また、水田の場合、透水性が良くなりすぎて、水持ちの悪化にもつながります。
- 2) 硬盤を『少しずつ』(20～30mm)薄く削りながら、同時に有機物も混和することで、徐々に団粒構造を形成しながら作土を増やしていくと、硬盤も薄くなり、通気性、排水性に優れ根張りの良い土へと変わります。安定的に収量を増やす事が出来ます。
※耕深調整は11段階(約25mm刻み)で調整可能です。(実用作業深さ100～250mm)
- 3) 養分を蓄える部分である作土の厚さ(深さ)は、一般的に150～180mmが理想です。

⑥ 大きな石にぶつかっても大丈夫?

- 1) 安全ボルト(M12×55 8.8T 全ネジ)が各ナイフの根元に装備されています。衝撃や過負荷になると安全ボルトが切断し、ナイフが後方に逃げる構造になっており、本機を保護します。
- 2) 純正品(指定品)以外の安全ボルトを使用した場合、切れずに機械が破損する恐れがあります。必ず純正品を使用してください。

⑦ 耕うんの仕方は?

- 1) 土の横移動を伴わないロータリと同じ耕法です。直ぐ隣から順番に耕起する隣接往復耕法、渦巻状に作業する回り耕法があります。
- 2) 予め、枕地の一工程を耕うんしておくと、設定された耕深への刺さり込みを良くできます。
- 3) 作業幅は、未耕起部分が残らないように耕起幅の100mm程度を重ねて作業します。



オプション品

カバーディスク ACD-SS7(各型式共通) 左右1組

土の飛散防止ディスク。



FDSS50 + ACD-SS7

コールドアタッチ ADCA-5R(5本爪タイプ用) 2連コールド

マット層が有る(イタリアン収穫後等)土壌の耕起向け(2連一組)



FDSS50 + ADCA-5R

カットナイフ付



粘土地に最適

フラットナイフ (型式末尾F)



黒ボク土・砂質土に最適